

大西達也氏による講演

- 午後のワークショップに活かせる情報提供として、大西達也氏による講演がありました。

大西氏（株式会社日本政策投資銀行の地域振興部課長）は、地域づくりの実例に詳しい専門家で、地域の特性を活かしたまちづくりの主役は市民であるという実例の紹介と、国内と地方の動向や将来人口の推計データをまじえて、分かりやすく将来の姿がイメージできるようなお話をいただきました。



参加者から寄せられた感想

《市民ワークショップに参加してみて・・・》

- ・いろいろな年代の方とお話ができ、勉強になった。また、同年代の方と友達になれて嬉しかった。参加者全員がよくやった。
- ・今回、市に関心を向け参加した。自分の考え方と市の考え方や地域の考え方があまり異なっていなかったのが安心した。一人一人の意見も参考になった。
- ・市の方々、ボランティアの方々ご苦労さまです。これからも多摩市政をよろしくお願いします。
- ・今回のようなワークショップをぜひ続けてほしい。
- ・講演会は参考になった。勉強になった。

《今後の改善点は・・・》

- ・7時間は長すぎる。5時間程度にしてもらいたい。
- ・もう少し時間をかけても良かった（2～3日）。
- ・発表までの時間が短く、もう少しまとめる時間がほしかった。伝えきれず少し残念だった。
- ・無作為ではなく、年代、地域等を考慮して参加者を集い、そこで集めた意見（情報）を基に、市として戦略（計画）を立てたほうが良い。
- ・基本的な考え方は、市役所も市民も同じだと思うので、具体的な案件の検討をしてほしい。（例：耐震問題、廃校問題、建設問題等）



To be continued.

今後の取り組み

今回、市民ワークショップの結果を速報で出しましたが、この市民ワークショップで頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として詳細にとりまとめ、平成21年度から始まる第五次多摩市総合計画の基本構想を検討・審議するための重要資料として取り扱います。

お問い合わせは、こちらまで
多摩市 企画政策部 企画課

TEL : 042 (338) 6813 FAX : 042 (337) 7658

市民ワークショップ

平成21年1月20日発行

開催結果速報

発行：多摩市 企画政策部 企画課
 住所：多摩市関戸6-12-1
 電話：042-338-6813
 FAX：042-337-7658



こんなまちにしたい！多摩市の未来 第五次多摩市総合計画基本構想の策定に向けて 市民ワークショップが開催されました！

多摩市では、平成23年度からスタートする第五次多摩市総合計画基本構想の策定にあたり、必要な将来都市像を考えていただくため、昨年12月20日（土）ベルブ永山5階ホールにて、市民ワークショップを開催しました。

本ワークショップでは、様々な世代から幅広くご意見をいただくため、16歳以上80歳未満の市民2,000人を無作為で選び、ご案内した方の中からさらに抽選で参加者を決めさせていただきました。



当日は、欠席された方もおられましたが、最年少は18歳、最年長は79歳と、実に幅広い世代の方36人が集まり、6人構成の6グループによる活発なワークショップが行われました。

～ 当日のプログラム ～

時間（午前）	内容	時間（午後）	内容
9:00～9:30	受付	13:00～13:45	情報提供「大西達也氏（日本政策投資銀行地域振興部課長）による地域づくり実例について」講演
9:30～9:45	主催者挨拶	13:45～15:00	ワークショップ「強みと弱みを踏まえた多摩市の目指すべきまちの姿＜将来都市像＞について」
9:45～10:00	情報提供「総合計画の概要について」の説明	15:00～15:10	休憩
10:00～11:05	ワークショップ「多摩市の強み（良い点）と弱み（改善すべき点）について」	15:10～15:45	グループ発表
11:05～11:15	休憩	15:45～15:55	投票
11:15～11:50	グループ発表	15:55～16:05	発表準備
11:50～12:00	情報提供「職員ワーキングチームの検討結果について」発表	16:05～16:10	投票結果発表
12:00～13:00	昼食	16:10～16:20	閉会挨拶
		16:20	閉会

午前のテーマは「多摩市の強み(良い点)と弱み(改善すべき点)について」で、初対面どうしの市民が集まった中では、果たして議論がスムーズに進むかどうか心配でした。

しかし、こうした市民が議論する会議のサポート役に経験のある学生たちが、グループに1名ずつお世話係となってついてくれたおかげで、どこのグループも議論が円滑に進みました。そこで出た結果は次のとおりです。

A班

【多摩市の強み】

- ・自然環境が良い。
- ・地域のグループに参加しやすい。
- ・都市環境が良い。
- ・イベントが多い。
- ・駅前で購入できる。
- ・治安が良い。

【多摩市の弱み】

- ・税金が高い!
- ・少子化
- ・施設(電灯)
- ・歩きタバコの取締りが弱い
- ・市全体の祭りが少ない

B班

【多摩市の強み】

- ・自然環境が良い(緑が多く空気が良い)
- ・道路が整備されている
- ・相対的に財政力がある(現在は!)
- ・交通の便の良さ
- ・住環境が良い(物価)

【多摩市の弱み】

- ・少子高齢化による人口減
- ・福祉行政の充実を乞う
- ・行政ムダ コストカット不足
- ・企業が少ない(若者の働く場所がない)
- ・道路の案内板が少ない

C班

【多摩市の強み】

- ・都市のインフラが充実している
- ・自然環境とバランスが良い
- ・都心へのアクセスが良い

【多摩市の弱み】

- ・少子高齢化に対する福祉対策が弱い
- ・都市ガス、CATVなどの整備が不十分
- ・軽犯罪増加の懸念がある

D班

【多摩市の強み】

- ・緑の多さ、自然が残っていて環境が良い
- ・子育て環境は良く、少子化が他に比べ進んでない
- ・災害に強い
- ・防犯体制が良い
- ・道路整備がされつつある

【多摩市の弱み】

- ・生産年齢増の流出
- ・教育機関の充実(一貫教育)
- ・坂道、段差、階段が多い
- ・マスコミ対策(イメージアップ)、PR
- ・道路環境の整備

E班

【多摩市の強み】

- ・緑が多いまち
- ・道路が広い
- ・史蹟が残るまち
- ・買物が便利

【多摩市の弱み】

- ・坂が多い
- ・建物のバリアフリー化不十分
- ・近隣との交流が不足
- ・子どもが少ない
- ・行政の呼びかけが弱い

F班

【多摩市の強み】

- ・公園、自然緑地が多く、自然が豊か
- ・団塊世代が多く、今後は活用できるので、市の発展に生かしたい
- ・交通の便が良い(小田急、京王、その他)
- ・工場等が少ないので住環境が良い

【多摩市の弱み】

- ・多摩ニュータウンの過疎化
- ・団塊世代の定年退職により税収が減る
- ・子どもが減って、学校が少なくなり不便
- ・南北の交通の便が悪い
- ・企業が少ないので、働く所が少ない(若い人が少ない)



午後のテーマは「強み(良い点)と弱み(改善すべき点)を踏まえた多摩市の目指すべき将来の姿(将来都市像)について」で、午前中の議論が白熱したこともあり、より打ち解けた雰囲気となりました。

こうした楽しく和気あいあいとした中で、全員が自由に発言をし、そこで出たイメージを言葉としてまとめる作業が着々と進められました。そこで出た結果は次のとおりです。

A班

- ・教育立市(IT・インターネット利用)
- ・企業誘致(災害に強い→IT・金融 子育て支援充実へ)
- ・再生 new town
(200年計画 ニュータウンは30~40年で作られたい)



B班

- ・福祉と医療を大切にする学園都市 多摩
- ・防災・防犯に強い安全な街多摩
- ・若者に魅力ある企業誘致都市 多摩 (衛生的な企業)



C班

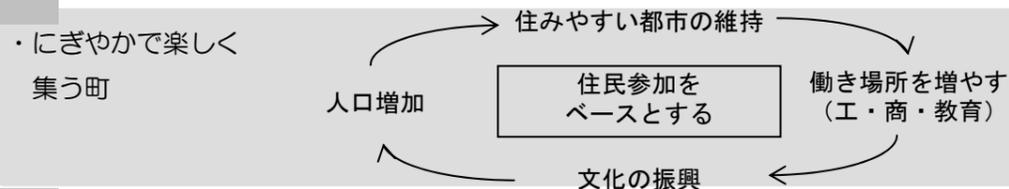
- ・若者の地域貢献活動をみんなで応援する多摩市
- ・幸せな三世代共存を実現できる街 多摩市

D班

- ・三世代が豊かな緑の中で生活できる街
- ・緑豊かな街!!三世代がいそいそ暮らす



E班



F班

- ・環(わ)のまち(人と人・自然と人)
- ・安全で安心して暮らせる街
- ・創造するまち

将来都市像について参加者全員による投票(1人につき3票)を行った結果、得票の多かったものは次のとおりです。

1位「福祉と医療を大切にする学園都市 多摩」	17票
「若者の地域貢献活動をみんなで応援する多摩市」	17票
3位「三世代が豊かな緑の中で生活できる街」	13票
「環(わ)のまち(人と人・自然と人)」	13票